

2016 年度活動報告 学部授業：ビジネス日本語 A～C

釜淵 優子（関西学院大学日本語教育センター）

1. 授業の目的

本科目は、留学生が日本での就職活動や日本企業で働く際に必要となる、ビジネス日本語関連能力の習得を目的としている。A クラスでは、電話応対やビジネスメールの基本、面接での日本語などのビジネスマナー面を中心に、B クラスでは、就職活動やビジネス場面で必要なディスカッションスキルや問題解決能力を、C クラスでは、履歴書やエントリーシートなど、就職活動関連書類の書き方について、それぞれ知識のインプットだけではなく、実際に使用できるレベルまで向上させることを到達目標とした。

2. 授業内容

3 クラスとも週 1 回（全 14 回）の授業である。まず、A クラスの「面接の日本語」では、ビデオ撮影と撮影動画のフィードバックを有効活用することで、ビジネス日本語を学ぶだけでなく、セルフチェック機能も同時に向上させ、実際の面接場面などでも自分自身でより良い運用ができるようになることを意識させた。その他にも、「メールの書き方」では、PC 教室を使用して、実際にメールを書いて送信する練習を重ねるなど、こちらも就職活動などでの使用を意識した練習を複数回行った。B クラスでは、毎回グループに分かれ問題解決や合意形成の枠組みを使用したディスカッション及び結論発表（模造紙を使用したポスター発表など）を行った。また、就職活動時のグループディスカッション対策も兼ねているため、時間管理を徹底し、ディスカッションは日本人 LA と合同で行うなど工夫した。C クラスは、履歴書やエントリーシートなど就職活動場面での書類に特化した内容だが、表面的な書類の正しい書き方に留まるのではなく、自己分析、企業分析、志望動機などの「何を書くのか」という内容面を重視した。また、それらを 400 字にまとめて発表するなどして、書類内容の完成度を高めることを意識させた。

3. 今後の課題

今後の課題は、3 クラス間の内容面での連携を更に高めることである。例えば、A クラスの面接練習での口頭での自己 PR と、C クラスで履歴書に記載する自己 PR は、内容面では重なる部分もあるため、両クラスを受講することでより相乗効果が望めるように考えていきたい。

また、C クラスの人数が多い、三田キャンパスでも開講してほしい、という留学生の声を受け、来年度から上ヶ原キャンパスでは秋学期開講から通年開講に、三田キャンパスでも秋学期に新規開講となる。これを機に、更に留学生の就職活動関連書類への不安を軽減できるよう、工夫を重ねることが求められていると考える。